

- ## 2. 【開催案内】公開シンポジウム「文化財の未来をつくるのは誰か」

-----■

【主催】日本学術会議 史学委員会「文化財の保存と活用に関する分科会」

【共催】奈良女子大学、岡山大学文明動態学研究所

【後援】奈良県、近畿地区考古学大学連絡協議会、奈良県教育委員会

【日時】令和8(2026)年10月25日(日)13:30～17:00

【場所】奈良女子大学ダイダンホール(奈良県奈良市北魚屋東町総合研究棟文学系S棟2階)
(ハイブリッド開催)

【参加費】無料

【定員】会場200人、オンライン1000人

【事前申込み】要

以下のリンク先申込フォームより、お申し込みください。

<https://x.gd/ICD0D>

【開催趣旨】

日本各地には、遺跡や建造物、歴史資料など、地域の歴史や文化を物語る数多くの文化財が受け継がれている。文化財は過去を知るための学術的資料であるだけでなく、人々のアイデンティティや地域社会の記憶を支える重要な社会資源でもある。しかし現在、人口減少や少子高齢化、自然災害の激甚化、地域社会の担い手不足などを背景として、文化財の保存・活用は大きな転換点を迎えている。また、文化財をめぐるのは、観光や地域振興、SDGs、防災・減災など、多様な社会課題との関わりもますます重要になっている。

こうした状況の中で、文化財の未来を支えていくためには、研究者や行政担当者だけでなく、市民、とりわけ次世代を担う若い世代が文化財の価値と課題を自ら考え、社会全体でその保存と活用のあり方を議論していくことが不可欠である。文化財は「守るもの」であると同時に、「未来へ引き継ぐもの」であり、そのあり方を決めるのは私たち一人ひとりである。

本シンポジウムでは、都市の歴史を読み解く学術研究の意義、文化財保護と防災、人口減少や災害が文化財に及ぼす影響、SDGsとの関係、パブリックアーケオロジー、文化財に関わる多様なキャリアなどをテーマとして、第一線の研究者・実務者が最新の知見を紹介する。さらに、高校生・大学生を交えた全体討論を通して、「文化財の未来をつくるのは誰か」という問いを参加者全員で考え、これからの文化財保存と活用の新たな方向性を展望したい。

【プログラム】<https://www.scj.go.jp/ja/event/2026/405-s-1025-2.html>

【問い合わせ先】岡山大学文明動態学研究所

メールアドレス: [ridc\(a\)okayama-u.ac.jp](mailto:ridc(a)okayama-u.ac.jp) ※(a)を@にしてお送りください。

-----■

3. 【開催案内】公開シンポジウム「今に生きる・活かす古典を考える

—倫理・道德教育における古典活用の可能性—

-
- 【主催】日本学術会議哲学委員会、心理学・教育学委員会、哲学委員会・心理学・教育学委員会合同今に生きる・活かす古典を考える分科会
- 【共催】日本哲学系諸学会連合、日本宗教研究諸学会連合、特定非営利活動法人世界哲学会議推進会
- 【日時】令和8(2026)年10月25日(日)13:00~17:00
- 【場所】東京大学本郷キャンパス 法文2号館 第1番教室(ハイブリッド開催)
※第2部のワークショップは対面のみ
- 【参加費】無料(どなたでも参加いただけます(小中高校生歓迎))
- 【定員】第1部 対面150人・オンライン150人/第2部 対面50人
- 【事前申込み】要

以下のリンク先申込フォームより、お申し込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd6Gga5S-y2-CzGnuJRmjjQn4VcwVkQxaP-u55ZcvAPLMV_A/viewform

【開催趣旨】

本シンポジウムは、日本学術会議哲学委員会・心理学・教育学委員会合同「今に生きる・活かす古典を考える」分科会が取りまとめた見解「今に生きる・活かす古典—倫理・道徳教育における古典活用の可能性」の公表を受けて開催するものである。第1部では、見解の内容を紹介したうえで、高等学校教育現場からのコメント、ならびに諸外国における哲学・古典教育の事例を踏まえ、倫理・道徳教育における古典活用の意義と課題を検討する。第2部では、古典を素材とした哲学対話のワークショップを行い、参加者とともに、古典が現代の思考・対話・学びにどのように活かされうるかを考える機会とする。

【プログラム】 <https://www.scj.go.jp/ja/event/2026/405-s-1025-1.html>

日本学術会議公式X

https://x.com/scj_info

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

=====
過去のニュース・メールは、日本学術会議ウェブサイトに掲載しております。

<https://krs.bz/scj/c?c=539&m=62511&v=3e80c0cb>

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://krs.bz/scj/c?c=540&m=62511&v=6fc3b854>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34